

当院で糖尿病を合併した腎臓病治療のために通院された患者さんへ

臨床研究へのご協力をお願い

当院糖尿病内科では、下記の臨床研究を実施しており、あなたから得られた診療情報を利用させていただきます。本研究の対象者にあたる方で、ご自身の情報の利用を希望されない場合は、【7. お問い合わせ先】までご連絡ください。ご協力いただけない場合でも、当院の診療に関して不利益をこうむることは一切ありません。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

1.研究課題名

ダパグリフロジン 5 mgまたはエンパグリフロジン 10 mg投与中の方において、ダパグリフロジン 10 mgに増量・変更することで更なる尿蛋白減少効果や eGFR 低下の抑制が認められるかの観察研究

2.対象となる方

当院外来通院中でダパグリフロジン 5 mgまたはエンパグリフロジン 10 mg投与中の慢性腎臓病による蛋白尿を認める方でダパグリフロジン 10 mgに変更した方

3.研究の意義・目的・方法

ダパグリフロジン 5mg かエンパグリフロジン 10mg 内服中の場合、ダパグリフロジン 10mg へ切り替え、尿蛋白の減少や eGFR 低下の抑制などを観察し、腎症の進行を抑制できるかを確認する。

4.研究に用いる試料・情報の項目

- ・試料：採血時の血液、尿
- ・診療情報：年齢、性別、身長、体重、インスリン・内服薬、罹病期間、併存症、尿蛋白定量、採血データ (eGFR、HbA1c、血糖値、尿蛋白定量、尿中 Na、推定塩分摂取量)
- ・利用を開始する予定日：研究実施許可日以降

5.研究実施期間

病院長許可日～ 2025年 12月31日

6.個人情報の取り扱いについて

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌等で公表する際は、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

7.お問い合わせ先

福岡赤十字病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 豊永 雅恵
0570-03-1211(代表)

【留意事項】

本研究は福岡赤十字病院研究倫理委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長(試料・情報の管理について責任を有する者)の許可のもと、実施するものです。

福岡赤十字病院 院長 中房 祐司